

# 富士見森のオフィス スタート

テレワーク戦略の柱である“富士見森のオフィス”スタートの状況とご協力のお願いについてお知らせします。

テレワークとは、「tele=離れた」と「work=働く」を合わせた造語で情報通信技術（ICT）を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことを指します。

町の戦略では、都会で行っているオフィス業務を、テレワークを活用して地方で同じ収入を得ながらより効率を上げて行うとともに、アウトドアも楽しめるなどライフスタイルの更なる充実を図ることで、企業やその社員が富士見町へ定着することを狙っています。

富士見町では、人口ビジョンの中で今後5年間のうちに人口が約500人減少し、しかもその中で若者の都会流出が大多数を占めると予測しています。

首都圏等からのIターン、Uターンを促進し、地域からの流出を抑制するために、この5年間でIT企業や個人事業者の誘致を含め150人を挽回することを目標としています。

その他、農業関連で150人、都会からの定年直後の人々に移住してもらう国の施策（CCRCという国の補助）を使い100人、子育て支援による出生率アップ施策等で100人を含め500人の挽回を目指しています。

町では塚平区にある武蔵野大学の研修センター（楽山荘）を改修し、昨年“富士見森のオフィス”を完成させ、入居企業や個人での利用者を募ったところ、全体8部屋のところ8企業で全てが埋まりました。

昨年12月12日に「富士見森のオフィスオープニングセレモニー」を開催しました。

記者会見では、各社の社長から“富士見森のオフィス”への強い期待と将来性について言葉をいただきました。

その後のオープニングセレモニーでは、入居決定企業8社の社長、個人利用予定者10名ほど及び国・県・町の行政担当者や議会議員、地元の関係者、武蔵野大学・諏訪東京理科大学の関係者等130人が出席するなか、大変盛り上がり交流も行われました。

今後、定員50人程度の施設の大部分が、利用者で活発に活用されると感じました。

## 記者会見



町長より入居企業8社の社長の皆さんを記者会見で紹介



民放各社のテレビ局、新聞各社多くのメディアも取材中

## オープニングセレモニー風景



130人が集まったセレモニー会場での町長挨拶



今後の発展をめざし武蔵野大学事務局長による乾杯

## 施設外観



## 施設位置図



## コワーキングスペース



大部分に吹き抜けを取り入れた開放的な空間。無線LANによるインターネット環境を整え、コワーキングスペース(共同利用可能な場所)やセミナー会場として利用できます。

## 会議室



1階、2階で計3部屋あり、有線LANによるインターネット環境を整え、ホワイトボードや液晶ディスプレイ、プロジェクターも設備しています。

## 食堂交流スペース



## 厨房



コワーキングスペースや会議室、厨房や食堂交流スペースは、町民の皆さまもご利用いただけます。事前に施設へ連絡のうえ、積極的に活用してください。

**申込 問** 富士見森のオフィス ☎78-8009

今後は入居企業の社員の方が定住できるよう、行政としてもしっかり支援するとともに、町の各種団体や町民の皆さまとも交流しながら、しっかりとした絆づくりを行っていきたく考えています。

以上、“富士見森のオフィス”の発展と人口定着を目指しますので、町の皆さまのご理解ご協力をよろしく願います。

**問** 総務課 企画統計係 ☎62-9332